



まちの話題

避難の足となる車両の充実

九州電力からの福祉車両贈呈式

九州電力株式会社（池辺和弘代表取締役社長執行役員）から福祉車両4台が寄贈され、12月5日に市役所駐車場で贈呈式が行われました。

同社は、原子力防災における予防的防護措置を準備する区域（PAZ）に準じた鷹島地域に、要支援者の避難用として6台の福祉車両を配備していますが、今回、自主的な取り組みとして、緊急時防護措置準備区域（UPZ）内の自治体にも福祉車両を寄贈されました。

これらの車両は、普段は公用車として使用しますが、災害時には自力避難が難しい高齢者など要支援者の移送用として使用されます。



観光振興の連携を強化

JAF との観光振興協定に関する調印式

一般社団法人日本自動車連盟（JAF）長崎支部（藤岡良規支部長）との観光振興協定締結が12月4日、市役所で行われました。

協定締結は県内7例目で、今回の協定締結により、JAFの総合観光サイト「JAFナビ」内の特集ページで、市内の観光施設やイベント、特産品が紹介されるほか、JAFの会報誌「JAF Mate2・3月合併号」に、アジフライの聖地をテーマにしたドライブコースの情報が掲載されるなど、観光誘客の一助となる取り組みを連携して行えることとなります。藤岡支部長は「『ドライブが地方を元気にする』を合言葉に、交流人口の増加や地域活性化につながる活動とともに進めていきたい」と話されました。



優れた水産製品として表彰！

「松浦港の海鮮丼ぶりセット」農林水産大臣賞受賞

第56回長崎県水産加工振興祭水産製品品評会が11月28日に開催され、日本遠洋旋網漁業協同組合の「松浦港の海鮮丼ぶりセット」が調味加工品・漬物部門の最高賞にあたる農林水産大臣賞を受賞しました。

このイベントは、県と長崎県水産加工振興祭実行委員会の主催で毎年開催されており、品評会には、「乾製品」、「ねり製品」、「塩干・みりん干・塩蔵」、「調味加工品・漬物」、「デザイン」の5部門に約470点が出品されました。

受賞の本製品は、天然アジ、ブリ、サバを胡麻の風味をかかせた特製の醤油だれに漬け込んだご飯にぴったりの一品で、松浦魚市場内の鮮魚・加工品販売所などで購入することができます。



子どもたちの元気な声が響く

すくすくフェスタ

松浦市保育会（前田英範会長）が主催する子育て支援事業「すくすくフェスタ」が11月23日、文化会館で開催されました。

同フェスタは、地域や保護者、保育所（園）、認定こども園が交流を深め、子育てに関する共通認識を持ち、その環境をつくることを目的に毎年開催されています。

この日は、2人組ユニット「あきらちゃん&タンバリンくん」のあそびうたコンサートが行われました。子どもたちは、日頃保育の中で楽しんでいる曲を目の前で聴いて、一緒に歌ったり、踊ったり、ステージに上がって会場を盛り上げるなど、大人も子どもも大満足の日になりました。



絵で火災予防を訴える

防火ポスターコンクール

平成 30 年度長崎県防火ポスターコンクールが開催され、厳正な審査により決定した最優秀賞など 7 作品のうち、市内から 5 人の児童が入賞を果たしました。

このコンクールは、防火意識の高揚を図り、火災予防の啓発に活用する目的で、小学 4 ～ 6 年生を対象に毎年実施されており、今年も 7 市 2 町 33 校から 240 作品の応募がありました。

市内の入賞者は次のとおりです。

【最優秀賞】

渡邊瑠菜さん(志佐小6年)

【優秀賞】

松田莉々沙さん(御厨小5年)

【佳作】

大石憲政さん(鷹島小6年)

白石呼人さん(鷹島小5年)

松田初華さん(福島養源小4年)

渡邊瑠菜さん
の受賞作品 ▶



まちを包むあたたかい光

今福和一处祭り「福フク・キラ☆・Happy day」

第 6 回今福和一处祭り「福フク・キラ☆・Happy day」のイルミネーション点灯イベントが 12 月 8 日、今福大川お祭り広場で開催されました。

今福和一处祭りは、まちを元気づけるために松浦商工会議所今福支部が主体となって実施しているもので、毎年趣向を凝らしたイベントが企画されています。

当日は、今福ぜんざいの無料配布や、KAZUTOMO のギターボーカル Kazu さんのミニライブなども行われ、訪れた人たちは、ステージパフォーマンスや買い物を楽しんだり、幻想的な空間の写真を撮ったりしながら、ゆったりとしたひと時を過ごしていました。



松浦市野球場『愛称』表彰式・平田勝男監督野球教室開催！

松浦市野球場の愛称表彰式および平田勝男阪神タイガースファーム監督の野球教室が 12 月 1 日、同球場で開催されました。

表彰式では、優秀作を参考に決定した愛称「青のまち松浦スタジアム」と記した縦 1 枚、横 3 枚のパネルがお披露目され、受賞者に表彰状が授与されました。

最優秀賞は、澤田直子さん(志佐・辻ノ尾)の「青のまち球場」で、澤田さんは「松浦市は海のイメージが強く、市のキャッチフレーズである青のまちという言葉がしっくりきてこの名前を選びました。皆さんに親んでもらえれば嬉しい」と受賞の喜びを話されました。

表彰式終了後に開催された平田勝男監督の野球教室には、市内のソフトボールクラブや野球チームの児童生徒ら約 100 人が参加。平田勝男さんは松浦市出身の元プロ野球選手で、現在は阪神タイガースのファーム監督を務められています。野球場が完成したら地元の子どもたちに野球の楽しさを教えに来て欲しいという地元関係者らとの約束を果たし、野球教室の講師を快く引き受けてくださいました。

平田監督は、投げる、打つ、捕る、走るといった野球の基本動作やフォームの修正、次の動作へ入る技術動作の改善などを熱心に指導され、参加者を代表して志佐中学校野球部主将の山本優崇さんが「今回の指導を活かして技術を磨いていきます」とお礼の言葉を述べました。



▲愛称表彰式での記念撮影



▲野球教室の様子